

サラ・チャイルズ教授 講演会

ジェンダー視点に基づく議会改革

Toward a Gender-sensitive Parliament

〔日時〕 2023年 **1月19日** (木) 16:00-17:30

〔場所〕 衆議院第一議員会館 国際会議室

※参加無料／同時通訳あり

※定員 100名

※事前申し込み制／こちらよりお申し込みください→



I P U (列国議会同盟) は2012年に「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」を採択し、各国議会が自己点検を実施することを推奨している。日本においても I P U 自己点検に向けて、衆議院が2022年4～5月に全衆議院議員を対象に「議会のジェンダー配慮への評価に関するアンケート調査」を実施し、6月に報告書を発出した。イギリスでは先進国議会としては初めて2018年にI P U自己点検を実施している。そこで、イギリスの実施状況に詳しく、またジェンダーの視点から議会改革を提言しているこの分野の第一人者、サラ・チャイルズ教授をお招きし議論を深める。

〔開会の挨拶〕

大串和雄 (日本学術会議連携会員・東京大学大学院法学政治学研究科教授)

〔趣旨説明〕

三浦まり (日本学術会議連携会員・上智大学法学部教授)

〔講演〕

サラ・チャイルズ (英国エジンバラ大学社会政治学部教授)

〔討論〕

武田宏子 (日本学術会議連携会員・東海国立大学機構名古屋大学大学院法学研究科教授)

〔開会の挨拶〕

中川正春 (衆議院議員、政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟会長)

サラ・チャイルズ Sarah Childs

ブリストル大学、ロンドン大学バークベックカレッジ、ロイヤル・ホロウェイ校で教鞭を執った後、2022年よりエジンバラ大学社会・政治学部教授。主著にWomen and British Party Politics, Sex Gender and the Conservative Party, Feminist Democratic Representation など。2015年・16年の英国庶民院での調査をもとに「The Good Parliament」報告書を執筆。



〔主催〕 日本学術会議政治学委員会比較政治分科会

〔後援〕 政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟

〔協力〕 科研費 (研究課題番号: 18H00817、代表: 三浦まり)



「The Good Parliament」

ジェンダー視点に基づく議会改革 趣旨説明

三浦 まり

上智大学法学部教授
日本学術会議連携会員

日本学術会議と女性の政治参画

ジェンダーの視点から
選挙制度を問う

2016年11月12日(土) 13:00~16:30
於: 日本学術会議講堂
(入場無料・事前予約不要)

公開シンポジウム
女性参政権70周年記念

◆開会挨拶 (13:00~13:15)
伊藤公雄 日本学術会議第一部会員・京都大学教授
斎藤純一 早稲田大学教授・日本政治学会理事長

◆第一部 選挙制度と女性の政治参画 (13:15~15:00)
司会) 遠藤康江 日本学術会議第一部会員・学習院大学教授
報告) 小林良彰 日本学術会議連席会員・慶應義塾大学教授「政治における男女共同参画を推進する方策」
三浦まり 止智大学教授「選挙制度におけるジェンダー・バイアス」
ケネス・モリ・マックウェイン 東京大学教授「クォータは合憲か? 憲法典の比較政治学分析」
藤塚康江 日本学術会議第一部会員・東北大学教授「選挙と立法者による制度形成」
討論者) 宮本睦子 元参議院議員
申キヨ子 創価の水女子大学准教授

◆第二部 選挙制度を問う (15:15~16:25)
司会) 後藤弘子 日本学術会議第一部会員・千葉大学教授 / 伊藤公雄 / 三浦まり 各院関係者

◆開会挨拶 (16:25~16:30) 後藤弘子

主催 日本学術会議社会学部委員会ジェンダー政策分科会 / 法学委員会ジェンダー分科会 / 政治学委員会政治過程分科会 / 日本政治学会ジェンダーと政治研究
●会場 日本学術会議講堂 東京都港区六本木7-22-34 地下鉄千代田線乃木坂駅下車すぐ
●図は1945-46年の資料 出典 女性と政治センター報道アーカイブス
●問い合わせ先 3irog@faculty.chiba-u.jp (※を@に変えてください)

日本学術会議公開シンポジウム

平成30年5月に「政治分野における男女共同参画推進法」(平成30年法律第22号)が制定・施行されました。

この法律は、国会議員の選挙においては、男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指すことなどを基本原則とし、政党その他の政治団体は、所屬する男女のそれぞれの公職の候補者の数について目標を定めるなど、自主的に取り組むよう努めるとしています。

この法律を踏まえ、選挙の場における男女の参画を促進することが、いさこそ必要です。

本日のシンポジウムでは、学術の観点から本法律の意義を明らかにするとともに、多様な立場で本法律の推進を共進し、「男女がともにつくる民主政治」の未来を展望したいと思います。

男女がともにつくる
民主政治を展望する
—政治分野における男女共同参画推進法の意義—

2019年 4月6日(土)
13:30~17:00
場所: 日本学術会議講堂
参加無料・事前予約不要・
託児あり

第一部 政治分野におけるポジティブ・アクションの意義
第二部 政治分野における男女共同参画推進法を育てる(パネル・ディスカッション)

主催: 日本学術会議法学会委員会ジェンダー法分科会
■共催: ジェンダー法学会、明治大学法科大学院ジェンダー法センター、クォータ制を推進する会(略称: Qの会)、科研費基盤研究C「ポジティブ・アクション実効化のための理論的・比較政策的研究」(研究代表: 辻村みよ子)
■後援: バリテ・キャンペーン実行委員会、お茶の水女子大学ジェンダー研究所「東アジアにおけるジェンダーと政治」研究プロジェクト、科研費基盤研究C「憲法上における共時的なコミュニティ・モデル構築のための基礎研究」(研究代表: 藤塚康江)、同基盤研究B「女性の政治参画の障壁: 国会議員・県選への郵送・ヒアリング調査」(研究代表: 三浦まり)

日本学術会議
公開シンポジウム

女性の政治参画をどう進めるか?

総合司会: 三尾裕子 (慶應義塾大学文学部教授)
開会の挨拶: 南野佳代 (京都女子大学法学部教授) / 林伴子 (内閣府男女共同参画局長)
趣旨説明: 三浦まり (上智大学法学部教授)

【第一部】改正法を活かす

司会: 三成美保 (奈良女子大学大学院生活環境科学系教授)

大倉沙江 (筑波大学人文社会科学助教) / 江藤俊昭 (大正大学社会共生学部教授)
「地方議会におけるハラスメント防止に向けて」

永野裕子 (豊島区議会議員)
「地方議会の環境整備について」

内藤忍 (独立行政法人労働政策研究・研修機構副主任研究員)
「改正法におけるハラスメント対策・両立支援の規定を活かすための施策」

武田宏子 (名古屋大学大学院法学研究科教授)
「イギリスからの示唆: 候補者選定過程を中心に」

【第二部】各国のクォータ事情

司会: 大串和雄 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

榊原康江 (東北大学名誉教授)
「フランスからの示唆」

申瑠栄 (お茶の水女子大学ジェンダー研究所教授)
「韓国からの示唆」

遠藤貢 (東京大学大学院総合文化研究科教授)
「アフリカからの示唆」

【第三部】推進法の役割と今後の課題

司会: 三浦まり
報告: 中川正春 (衆議院議員) / 土屋品子 (衆議院議員) / 矢田わか子 (参議院議員)
閉会の挨拶: 大沢真理 (東京大学名誉教授)

政治分野における男女共同参画推進法は施行から3年後の2021年に改正され、政党の努力義務内容の充実化(候補者選定過程の改善、人材育成、セクハラ・マタハラ防止)、国・地方公共団体・議会の環境整備等に関する義務規定、セクハラ・マタハラ防止等が盛り込まれた。また、政府の「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」は、国会議員候補者に占める女性の割合を、2025年までに35%以上にしようとする政党に要請し、同期間に地方選挙でも女性候補者の割合を35%以上としている。しかしながら、2021年の総選挙では女性議員が2人減るという結果に終わった。本シンポジウムは女性の政治参画を進めることを目的とする改正法の実効性を高めるための施策及び積み残し課題について、諸外国等の事例を参照しつつ議論する。

【日時】令和4年 3月13日(日) 13:30~17:30
オンライン開催 (Zoom webinar) ※要事前申込・登録制 (参加無料)
参加申し込み https://sophia-ac.jp.zoom.us/join/register/WN_2VBCr4n5QkCjgByw0T5Wg

【主催】日本学術会議法学会委員会ジェンダー法分科会、政治学委員会比較政治分科会、社会学委員会ジェンダー研究分科会、第一部総合ジェンダー分科会
【後援】内閣府男女共同参画局、全国都道府県議会議員会、全国市議会議員会、全国町村議会議員会、ジェンダー法学会
【協力】科研費(研究課題番号: 18H00817、代表: 三浦まり)

議会に女性は少ない→女性にとって働きにくい場所？

国会

2020年1月1日時点

衆議院の
女性比率

9.9%



参議院の
女性比率

22.9%

9.7% ←

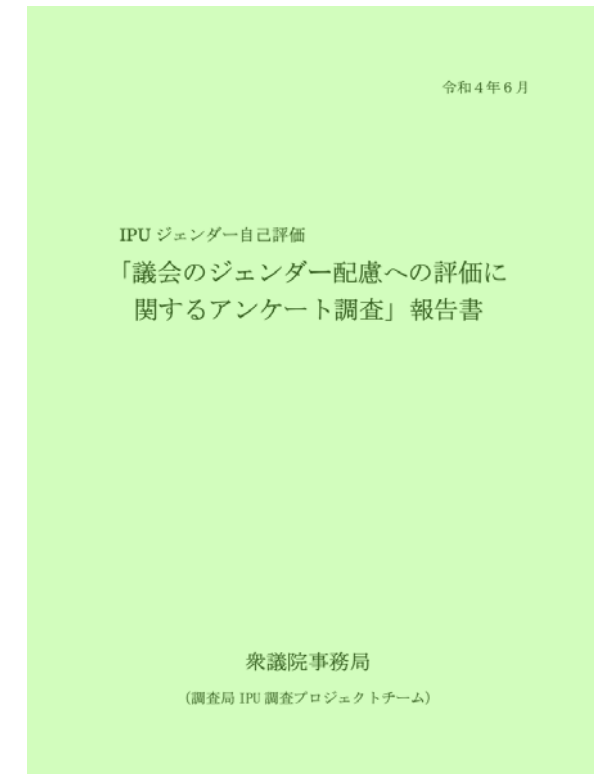
女性ゼロ委員会
環境委員会
懲罰委員会
政治倫理委員会

女性おひとり様委員会
財務金融委員会
安全保障委員会
議院運営委員会
政治倫理特別委員会
情報監視委員会

→ 25.8%

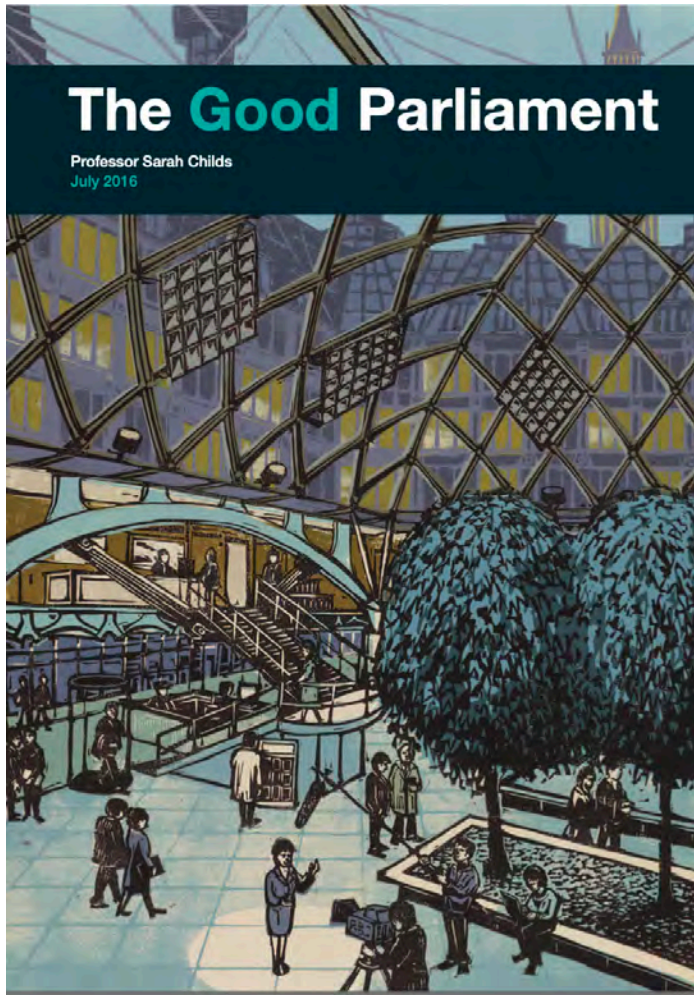
「議会」にジェンダー視点を

- 議会エコシステムを変え、女性や多様な人々が参画でき、ジェンダー平等を推進する推進力を発揮する
- 議会の役職の男女比
- 議会の開催時間
- 産休・育休
- 女性トイレ
- 服装規程
- ハラスメント防止
- 言葉遣い など



分析をして、行動計画へ！

学術と議会関係者の共同作業



- 2016年 サラ・チャイルズ教授の英国議会調査報告書「良い議会」刊行
- 提言に基づく議会改革が進展
- 進捗管理が進行中